住民説明会④ 鷹巣中学校校区

日時：令和6年5月22日（火）

開始：19：00 終了：20：34

場所：開発総合センター

参加者：69人

- 町長の説明でバス対策について発言があったが、どちらに学校が統合しても対策的には一緒なのか。

また、長い目を見たとき2校の維持費はどれくらいかかるのか。

答 バス対策については、どちらにしてもやらなければならない。

維持費は、鷹巣中学校は耐用年数がくれば建て替えることになる。

- 鷹巣中学校はいずれ新築の校舎を建てるということか。その場合、長島高校跡地に新築で建てた場合は、建て替えの必要がないと思ったがどうだろうか。

答 補修がいなければその分費用がかからないため、建て替え経費に積み立てることになる。建て替えになる際は、新築改築の事業があるため新しく試算すると思う。

- 子どもたちの環境的には、設備等が近くにある鷹巣中学校がいいと思う。おそらく統合したら生徒数も増えて部活動も活発になるため、そのためには色々な施設がある方が子どもたちにとって良い環境。

また、長島高校周辺は教員が住んでおらず、鷹巣や他の地域から通勤していた経緯があるのにも関わらず、なぜそこに教育施設を造らないといけないのか。一度議会でも長島高校跡地に中学校を再編する案が否決されているのに教育委員会が提案しているのが不思議でならない。

答 それぞれメリットデメリットがある。長島高校跡地は敷地が広く、部活動も学校のグラウンドで十分できる。また、保護者や職員の駐車場も学校の敷地内に収まることから子どもの環境を考え、教育委員会としては長島高校跡地を推薦している。

- この住民説明会は、賛成反対を問う場なのか、鷹巣中学校に決定する方向についての話し合いなのか。資料をみると、賛成意見も反対意見も記載されていないため、そもそも議論が生まれえないのではないか

また、大きな事業のため、専門業者等第三者の意見もこの案に取り入れられているのか。

答 この説明会は、鷹巣中学校と長島高校跡地のどちらを議会へ提案するか決定するための参考意見を聞くために開催している。

1次判定は、公平な立場のコンサルタントに依頼をして2校に絞ったところで1回目の住民説明会を行った。そして行政側は補足として資料のとおり説明をした。

学校の決定は、提案は町長がするが、最終的には議会が判断することになるため、この説明会で決定することはない。今回の説明会で出された意見を参考にしながら、最終的にどちらの案がいいか総合教育会議で決定する。その後、決定した案についてパブリックコメントを募集し、最終的にどちらの案を議会へ提案するか再度総合教育会議を開き決定する予定である。

中学校1校に統合再編することは、教育委員会が教育的な立場から進めている。

義務教育が中学校で終わり、島立ちをしていく子どもたちのことを考えたら、中学校の3年間は生徒数が多い中で多様なものの考え方を集団の中でお互い磨きあげて力をつけていくことが大切。

また、中学校の専門教科の教員が臨時免許を取得し、1人で何科目か教えている。1校になるとそれぞれの専門の教員が揃う。

部活動は現在、町内外の学校と合同チームをつくり練習をしている。1校になれば、人数が揃い、子どもたちの希望も取り入れて部活動ができるようになる。

以上の考えから1校にしたいというのが教育委員会の願いである。

○ 前回、長島高校跡地に1校に再編する案が議会によって否決されたが、1校にすることに反対されたのか、場所について反対されたのか教えて欲しい。

町長の説明で、6P その他急を要する施設整備にある城川内小学校について、「城川内小学校関連」とあったが、長島中学校区の説明会では関連という発言がなかったため、あるのとないのでは住民の意見も変わってくる。また、鷹巣小学校2億4千万円、城川内小学校1億2千万円あれば、現時点の危険校舎から脱却できるということか。

場所については、コンサルタントを入れるなどして比較検討されているが、4校を1校にすることについては現時点で行政側は決定事項とされている。統合再編のメリットデメリットを提示するとより理解が進むと思う。統合再編すると、教員の数が減ることや、スクールバスの問題もでてくると思う。まず統合再編した場合、教員の数がどれくらいになるのか参考として教えて欲しい。

学校統合の問題は、40～50年先の話まで決まるため、未就学児が長子の保護者から意見を伺う機会は作るのか。

鷹巣中学校に関して、鷹巣中のグラウンドと多目的広場を合わせれば、長島高校跡地と面積の遜色はないと説明があったが、多目的広場の費用は鷹巣中学校の事業費に含まれているのか。

答 城川内小学校を今のところに建替えるのか、適当な場所があるのか、中学校を統合することにより閉校になった長島中学校を活用するのかなど場所についていろいろな検討ができる。また、蔵之元小学校が複式になる学級がでてくるとも問題となる。6Pは城川内小学校のみ建て替える場合の事業費を1億2千万円としている。多目的広場はもう出来上がっているため、経費として計上していない。

現在4中学校の授業ができる教員は教頭も含め36名。1校になった場合は18名。メリットとしては、中学校は授業が10教科ある。現在各校に9名ずつ授業ができる教員がいることになるが、教頭を除く実質8名しかいない。10教科に対し8名の教員が配置されているため、専門外の教科の臨時免許を取得し対応している状況である。

1校に統合再編された場合18名の教員が配置されるため、各教科1～2名の教科担任が配置できることが大きなメリットである。

未就学児の保護者が夕方から夜にかけての住民説明会に参加することが難しいことから、パブリックコメントは各保育園にお願いして説明資料等をお届けしたいと思っている。

○ 2Pを見るとわかるように、鷹巣中学校に統合したら近くの町の施設が利用できるのは大きいと思う。また、鷹巣小学校、鷹巣中学校は実際町の施設を利用しており、円滑に部活動や行事も行っている。個人的には鷹巣中学校に賛成。

5Pに記載してあるように、鷹巣は住宅や医療機関、緊急対応、お食事処や金融機関も近くにあり利便性が良い。

学校というのは中心地にあるほうが子どものためになる。外部のコンサルタントの意見にも7割がた鷹巣中学校の方が良いと記載されているのをみた。なぜ長島高校跡地の案がでてくるのかわからない。

しかし、鷹巣中学校に統合した後3年ほど工事期間がある。子どもたちがいる学校で工事をすることになるが、騒音が気になる。PTAでも話題になった。子どもの教育にとってとても大事な問題だと思うが見解を教えて欲しい。

答 工事に関しては、コンサルタントによると長期休業や休日を使って行う予定である。基本計画のため、実施計画になると変わる可能性もある。

しかし、子どもにとって影響がないような工事計画を組む予定。

学習するには静かな環境保全をした方が良いが、今までも町内各学校で増築や改築工事をしており、工事が原因で教育がおろそかになったとは聞いたことがない。

しかし、施工業者と注意しながら、また騒音対策をするなどして子どもたちへの影響を最小限に抑えたい。

- 町の中心地に学校があった方がよい。
学校統合のスケジュールを教えて欲しい。

答 今後のスケジュールは住民説明会が終わったのち、総合教育会議を開く。総合教育会議で決定したことに対してパブリックコメントで住民の意見を募集する。再度総合教育会議を開いてどちらを議会へ上程するか最終判断をする予定。

早ければ7月以降の臨時議会で決定することになるが、今後の協議次第でスケジュールは変わってくると思う。

説明の中で、中学校進学時と高校進学時に支援金を支給したい旨を話したが、町長としては学校統合後の事業だと想定していたが、ある母親から自分の子どもは今年度で中学校を卒業するため支援はしてもらえないと言われた。

学校統合が決まったら次の議会で進学時の支援金についての条例改正を議会へ上程したいと思う。対象者が今年の卒業生からなのか、学校統合後からなのかは悩ましいが、今年の卒業生から受給できるように議会へも提案したいと考えている。

地域の理解は、どの地区も近隣の整備を希望している。

また、中学校を4校から1校に統合再編すること合意していただきたい。

町長部局としては、総合教育会議を開き鷹巣中学校、長島高校跡地のどちらかを優先して提案をする。提案した案が可決されればその場所で統合を進め、否決の場合はもう1つの案を上程する予定。この方針については理解して欲しい。理解していただかないと前に進めない。

決まったところには、町としても責任をもって財源対策も行い、子育て支援も充実させる覚悟でいるため、よりよい中学校にできるようにお互い協力し合いたい。